

◆健康へのワンポイント アドバイス◆

「緑内障について」

緑内障とは 緑内障とは何らかの原因で視神経が障害され、視野(見える範囲)が狭くなる病気で、眼圧の上昇がその病因のひとつとされています。

房水と眼圧 眼の中には血液の代わりとなって栄養などを運ぶ、房水とよばれる液体が流れています。目の形状はこの房水の圧力によって保たれていて、これを眼圧と呼びます。眼圧は時間や季節によって多少変動しますが、ほぼ一定の値を保っています。

緑内障の症状

一般的に緑内障では自覚症状はほとんどなく、知らないうちに病気が進行していることがあります。視神経の障害はゆっくりとおこり、視野も少しずつ狭くなっていくため、目に異常を感じることはありません。

→ 早期発見、早期治療が大事

多くの場合、自覚症状がない緑内障に対して、最も重要なことは早期発見、早期治療です。一度障害された視神経をもとにもどす方法はなく、病気の進行をくいとめることが目標となります。

→ 年一回は定期健診を受けましょう。

40歳以上の人口のうち緑内障患者さんは、5.0% (20人に1人)!

(令和6年1月)